

4.28
(土)
7.16
(祝)

開館時間
10:00~17:00
(入館は16:30まで)
月曜・5/1休館

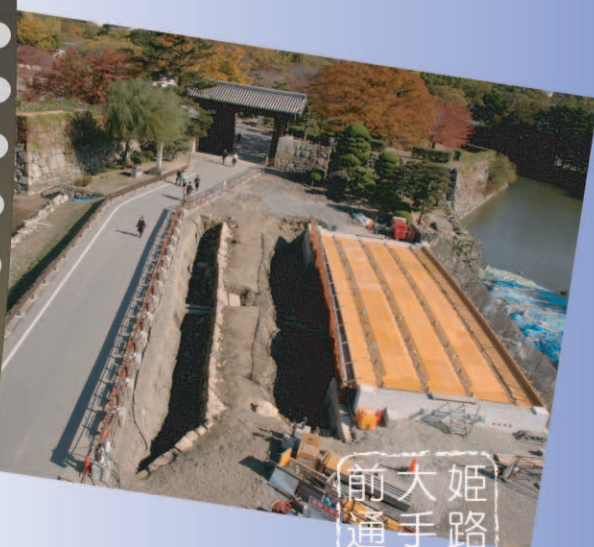
姫路市埋蔵文化財センター

企画展

発掘調査速報展
2007



船場川東区整遺跡第6地点



姫路大前
路通手
城門路



姫路
路遺
跡駅
周

「発掘調査速報展2007」展示品目録

番号	品名	員数	遺跡名	番号	品名	員数	遺跡名
1	須恵器 杯身	6点	船場川東区整遺跡第6地点	26	柱状片刃石斧	1点	阿保遺跡 第2地点
2	須恵器 杯蓋	6点	船場川東区整遺跡第6地点	27	磨製石庖丁	1点	阿保遺跡 第2地点
3	須恵器 壺	2点	船場川東区整遺跡第6地点	28	本町式軒丸瓦	1点	英賀保駅周辺遺跡第1地点
4	須恵器 甗	4点	船場川東区整遺跡第6地点	29	風字硯	1点	英賀保駅周辺遺跡第1地点
5	須恵器 高杯	5点	船場川東区整遺跡第6地点	30	白磁碗	3点	英賀保駅周辺遺跡第1地点
6	須恵器 捏鉢	1点	船場川東区整遺跡第6地点	31	白磁皿	1点	英賀保駅周辺遺跡第1地点
7	土師器 高杯	1点	船場川東区整遺跡第6地点	32	青磁碗	2点	英賀保駅周辺遺跡第1地点
8	円筒埴輪	1点	船場川東区整遺跡第6地点	33	土師器 皿	17点	英賀保駅周辺遺跡第1地点
9	滑石製勾玉	1点	船場川東区整遺跡第6地点	34	須恵器 椀	1点	英賀保駅周辺遺跡第1地点
10	弥生土器 広口壺	1点	船場川東区整遺跡第6地点	35	緑釉陶器	1括	英賀保駅周辺遺跡第1地点
11	弥生土器 長頸壺	3点	船場川東区整遺跡第6地点	36	須恵器	1括	英賀保駅周辺遺跡第1地点
12	弥生土器 短頸壺	1点	船場川東区整遺跡第6地点	37	瓦器	1括	英賀保駅周辺遺跡第1地点
13	弥生土器 甕	1点	船場川東区整遺跡第6地点	38	瓦質塼	1括	英賀保駅周辺遺跡第1地点
14	磨製石庖丁	1点	船場川東区整遺跡第6地点	39	縄文土器	1点	姫路駅周辺第2地点遺跡
15	弥生土器 広口壺	1点	阿保遺跡 第2地点	40	須恵器 蓋	1点	豆腐町遺跡
16	弥生土器 甕	1点	阿保遺跡 第2地点	41	須恵器 杯	1点	豆腐町遺跡
17	弥生土器 高杯	1点	阿保遺跡 第2地点	42	須恵器 圈脚円面硯	1点	豆腐町遺跡
18	サヌカイト原石	3点	金山産(香川県坂出市)	43	土師器 高杯	1点	豆腐町遺跡
19	サカト製 板状剥片	1点	阿保遺跡 第2地点	44	土師器 小皿	6点	豆腐町遺跡
20	サカト製 打製大型石庖丁	1点	阿保遺跡 第2地点	45	土師器 中皿	4点	豆腐町遺跡
21	サカト製 打製石庖丁	1点	阿保遺跡 第2地点	46	唐津焼 皿	1点	豆腐町遺跡
22	サカト製 打製石剣	1点	阿保遺跡 第2地点	47	目貫	1点	豆腐町遺跡
23	サカト製 スクレイパー	1点	阿保遺跡 第2地点	48	ままごと道具 碗	1点	姫路駅周辺第2地点遺跡
24	サカト製 石鏃	10点	阿保遺跡 第2地点	49	面子	1点	豆腐町遺跡
25	サカト製 石屑	1点	阿保遺跡 第2地点	50	小型土製品	1点	豆腐町遺跡

凡例

1. 本書は平成19年4月28日(土)から7月16日(祝)まで、姫路市埋蔵文化財センターで開催する企画展「発掘調査速報展2007」の展示解説として作成した。
2. 展示品はすべて姫路市教育委員会の所蔵である。
3. 今回の企画展は当センター職員が担当した。
4. この図録の編集は小柴治子が行い、野村知子・三輪悠代の助力を得た。
5. 表紙デザインは、田中章子による。

姫路市埋蔵文化財センター

Hiogo City Archaeological Research Center

〒671-0240 兵庫県姫路市西園町東元414番地1
TEL (079)252-3950 / FAX (079)252-3952
URL <http://www.city.himeji.hyogo.jp/meibun-center/>
E-mail meibun-center@city.himeji.hyogo.jp

阿保遺跡
第2地点



英賀保駅周辺遺跡第1地点



3 英賀保駅周辺遺跡



英賀保駅周辺遺跡は、姫路市西部を流れる夢前川左岸に広がる遺跡です。大きく4つの地点に分かれており、今年度は飾磨区山崎にある第1地点の調査を行いました。遺跡は夢前川の形成した自然堤防上に立地する平安時代から鎌倉時代にかけての集落跡です。室町時代の夢前川河口には港町として栄えた「英賀」があります。調査地点はその上流に位置しており、この地域における中世集落の動態を知る上で重要な遺跡であると考えられます。

4 姫路駅周辺遺跡



JR姫路駅周辺では、平成5年より姫路駅周辺整備事業に伴い発掘調査を行っています。今回の調査は、豆腐町遺跡と姫路駅周辺第2地点遺跡の2ヶ所で行いました。前者では、古代に加えて中世、近世の3つの遺構面を確認し、出土した布目瓦の分布状況から、古代の遺跡の中心が現JR姫路駅辺りであることがわかってきました。後者では、市内では極めて珍しい縄文前半の遺物と弥生時代・中世の遺構と近代「生野鉱山寮馬車道」の一部を検出しました。

5 小山遺跡

小山遺跡は、姫路市南部のほぼ中央にある手柄山の南東に位置します。

過去の発掘調査により、播磨の弥生研究の礎となった遺跡です。

今回の調査では、微高地の先端と河道を確認しました。



6 和久遺跡

JR網干駅の南側に位置する弥生時代から古墳時代の集落跡です。今回は、弥生時代の甕が出土したほか、これまで遺跡の中心と考えていた、東西約90m、南北約50mの丘全体が盛土であったことがわかりました。



7 坂本城跡

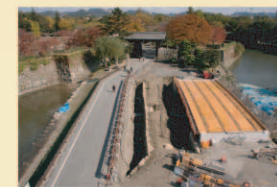
室町時代における播磨守護・赤松氏の拠点の一つで、約170m四方の平城でした。

今回の調査では、平安時代後半から鎌倉時代の掘立柱の柱穴などがみつき、城が築かれる以前の様子が明らかになりました。



8 姫路城跡

姫路城正面入口の桜門橋架橋事業に伴い、明治時代に造られた大手門前通路の解体調査を実施しました。また、十二所前町の調査では建物跡や溝などを確認し、城下町での人々の暮らしが浮き彫りとなりました。



1 阿保遺跡



阿保は、市川の右岸、JR山陽新幹線の南に位置します。『播磨国風土記』には、「英保里」の名が見られます。地区内に6ヶ所の遺跡が存在し、今回は第2地点で調査を行いました。

第2地点では、これまで奈良・平安時代を中心とした数多くの成果をあげています。今回の調査では、初めて弥生時代の竪穴住居跡を確認するとともに、その住居跡から土器やサヌカイト製の石器・石屑などが出土し、弥生時代についての新知見を得ることができました。

2 船場川東区整遺跡第6地点



船場川東区整遺跡第6地点は、姫路市のほぼ中央、手柄山の南側に位置します。これまで姫路バイパス南側を中心に調査され、弥生時代から古墳時代にかけての拠点集落であったことがわかっています。

バイパス北側については、飯田手柄地区における区画整理事業の計画を受けて、今回から本格的な発掘調査を開始することになりました。これからの調査で、数多くの考古学的成果が得られることが期待できる遺跡です。

